

「まん延防止等重点措置」の内容変更に伴う横浜市の対応について

神奈川県「まん延防止等重点措置」の内容変更に伴い、本日、横浜市新型コロナウイルス対策本部運営チーム会議を開催し、横浜市は、8月22日まで次のとおり対応することを決定しました。

市民利用施設及び市主催のイベントにおける酒類提供について

7月22日から、酒類提供（酒の持込み含む）を終日完全停止します。

※ 利用時間、収容人数等については、現在のまん延防止等重点措置の対応から変更はありません。（内容は以下のとおり）

【市民利用施設の利用時間等】

- 利用時間の短縮
原則 20 時まで（ただしイベント開催時は 21 時まで）
- キャンセルについて
措置期間中の上記時間をまたぐ利用枠の予約について、取消を申し出たものについては、キャンセル料を徴収せず、利用料等を返還します。
- 徹底的な感染対策
一般的な感染対策に加え、施設内外に混雑が生じることがないように、集客に応じた入場制限などの入場整理を徹底します。
- 会食自粛等の注意喚起
利用者に対し、利用前後の会食自粛など、リスクの高い行為への注意喚起をします。

【市主催のイベントの人数制限等】

- 人数
次の①と②の小さい人数を上限とします。
①収容率：大声無し 100% 大声あり 50%
②人数：5,000 人以下
- 開催時間：原則 21 時まで
- イベント前後の会食自粛を周知します。
- 施設内外に混雑が生じることがないように、集客に応じた入場制限などの入場整理を徹底します。

林 文子 横浜市長のコメント

このたび、神奈川県は、7月22日から「まん延防止等重点措置」の措置区域を県内全市町に拡大し、飲食店等に酒類提供の終日停止を要請することを決定しました。

横浜市内の直近1週間あたりの感染者数は、4月20日からの「まん延防止等重点措置」の適用以降、最多の1,183人となっています。これ以上の感染拡大を食い止めるためには、外出自粛や時短営業など、市民、事業者の皆様のご協力が欠かせません。

これから夏休みのシーズンです。例年であれば、帰省や旅行、会食などの機会が増える時期です。感染症対策を徹底し、大人数や長時間に及ぶ飲食など感染リスクが高まる行動を控えていただきますよう、改めてお願いいたします。

また、いよいよ23日には、東京2020オリンピック・パラリンピックが開幕します。残念ながら、横浜スタジアムでの野球・ソフトボール、横浜国際総合競技場でのサッカー競技は、無観客での開催となりました。市民の皆様には、それぞれご自宅での観戦をお願いします。

おかげさまで、横浜市の高齢者の皆様へのワクチン接種は順調に進み、7月18日現在、約53万人の方が2回目の接種を終えています。7月中には、希望するすべての高齢者の皆様への接種が完了する見込みです。

横浜市は、今後とも、市民の皆様への命と暮らし、横浜経済をお守りするため、ワクチン接種をはじめとする感染症対策や、事業者の皆様へのご支援に全力を尽くしてまいります。

お問合せ先

総務局緊急対策課長

木村 正夫

Tel 045-671-2170